

50	辻英明、河村由紀子、山内章史	16(2)101-106(2001)	実地のゴキブリ捕獲指数に及ぼす調査用粘着トラップ数の影響
51	水谷澄、小泉智子、新庄五朗、太田周司、長谷山路夫	16(2)107-110(2001)	新東京国際空港構内から採取した蚊幼虫の薬剤感受性レベルならびにその結果から推測できる今後の防除対策
52	渡部泰弘、望月香織、田原雄一郎	17(1)1-4(2002)	チャバネゴキブリの糞の分布による薬剤忌避現象の検証—若虫での評価—
53	平尾和也、田原雄一郎	17(1)29-32(2002)	チャバネゴキブリの増殖要因としてのシェルターの影響
54	高橋朋也、渡部泰弘、田原雄一郎	17(1)33-34(2002)	認可された施用濃度における数種薬剤のチャバネゴキブリに対する致死効力
55	辻英明	17(1)37-40(2002)	パラジクロペンゼンのノシマダラメカに対する幼虫侵入防止効果及び成虫産卵効果
56	齊藤嘉廣、平林桂介、麻柄隆、渡部謙	17(1)45-48(2002)	テルペン製剤の飛翔昆虫に対する忌避効果
57	小曾根恵子、金山彰宏	17(2)87-92(2002)	横浜市における食品の異物混入—昆虫を中心に—(1993-2001)
58	河村由紀子、池谷実紀、宮本典子、渡部信子、田原雄一郎	17(2)93-96(2002)	シンサンハソムシおよびチャバコシハソムシの餌選好性
59	谷川力、大町俊司、菅野幸子、川上泰、内田明彦	17(2)97-100(2002)	クマネズミにおけるビタミンK1のワルファリン解毒効果の検討
60	城達哉、服部畦作、	17(2)101-104(2002)	北海道におけるオオモウバエ防除事例
61	矢部辰男、渋谷良文	17(2)105-108(2002)	建物に侵入するクマネズミの防鼠ブラシによる阻止
62	橋本知幸、武藤敦彦、新庄五朗、水谷澄	18(1)1-6(2003)	チャバネゴキブリの生息密度と喫食性がバットの致死効果に及ぼす影響
63	平尾素一	18(1)7-12(2003)	食品害虫用複合フェロモンによる捕虫成績
64	辻英明、菅野格朗、中根佳子、片山淳一郎	18(1)13-17(2003)	ゴキブリ用無色透明粘着トラップの実用性
65	大町俊司、谷川力	18(1)31-33(2003)	電気ポット内へのチャバネゴキブリ侵入の実験的検証
66	渡部泰弘、望月香織、田原雄一郎	18(1)19-24(2003)	クロゴキブリの糞の分布による殺虫剤忌避現象の検証
67	辻英明	18(1)25-30(2003)	異物昆虫の屋内侵入条件に関する実験的研究—窓やドアの隙間からの出入り—
68	齊藤一三	18(1)45-47(2003)	クロゴキブリ卵鞘ごとの孵化幼虫の性比
69	瀬良田信子、高橋宏英、羽原政明	18(1)49-52(2003)	低酸素条件が数種昆虫の生存期間に及ぼす影響
70	谷口敬敏、黒田昭吉、渡辺謙	18(1)53-59(2003)	富山県のリゾートホテルでみられたトコジラミの大発生とその駆除
71	青山修三、村上竜仁	18(1)59-64(2003)	北海道におけるヤマトシロアリ生息北限の新知見
72	齊藤嘉廣、麻柄隆、麻柄達生、平林桂介、渡辺謙	18(1)65-68(2003)	家屋侵入性カメムシに対するテルペン製剤の侵入阻止事例

資料－2 日本環境動物学会誌：2000～2003

	著者	環動昆	題目
1	吉村 剛	11(3)125-135(2000)	床下環境とシロアリ
2	吉岡由明、武衛和雄	11(4)175-181(2000)	ネコノミ幼虫の殺虫剤感受性
3	今井長兵衛	11(4)183-197(2000)	衛生害虫分野におけるIPM
4	中嶋智子、足立雅彦、降井佐太郎、井上壽	12(1)5-20 (2001)	京都府保健環境研究所で1990年4月から2000年3月に実施した衛生動物等の同定検査
5	藤井義久	12(1)21-31(2001)	アコースティック・エミッション(AE)によるシロアリ食害の検出
6	築瀬佳之、藤井義久、奥村正悟、吉村剛、今村祐嗣	12(2)53-67 (2001)	AEモニタリングによるアリカバンザシロアリの食害検出
7	土居修一	12(2)103-109(2001)	「木材と、その成分を使ってシロアリの被害を防ぐ」という試み
8	大類幸夫・原田春康	12(3)121-129(2001)	PCR-RFLP法による貯穀害虫のマダラメイガ類4種の識別
9	内海与三郎、出口智也、西川勝、亀井正治、林晃史	13(1)1-10 (2002)	ヒドリナガルン含有ペイト剤「シーシーRシェル」のチャバネゴキブリに対する殺虫効力
10	大村和香子	13(1)19-28 (2002)	蒸煮カラマツ心材抽出物を利用したイエシロアリ防除への応用基礎研究
11	松永忠功	13(2)59-66(2002)	家庭用殺虫剤の水性化に関する研究
12	中山友栄、築瀬佳之、吉村剛、藤井義久、今村祐嗣	13(3)125-131 (2002)	湿度変化がヤマシロアリの摂食活動に及ぼす影響
13	平尾素一	13(3)163-171(2002)	走光性昆虫による異物混入とその対策
14	藤田百合子、柴山裕治、鈴木康弘、小田健一、岩崎拓、平井規央、石井実	13(4)231-236(2002)	混合植物抽出液「パクワーリーR」の室内試験における昆虫忌避および殺虫効果
15	内海与三郎、出口智也、西川勝、亀井正治、林晃史	14(1)31-36(2003)	ヒドリナガルン含有ペイト剤「シーシーRシェル」のクロゴキブリに対する殺虫効力
16	辻英明	14(1)47-48(2003)	クロゴキブリの自発飛翔
17	辻英明	14(2)119-122(2003)	ゴキブリ用粘着トラップの入り口の状態と捕獲効率
18	大村和香子、三枝道生、山本幸一、加藤厚	14(3)141-147(2003)	ドクダミ抽出物のシロアリ道しるべ活性
19	Muhammad Naeemullah、竹田真木生	14(3)157-166(2003)	ナシマダラメイガの密度への反応としての道い出し行動は幼虫発育を制御する機構とカップリングする

資料一 3 日本衛生動物学会誌：2000（51巻）～2003年（54巻）

1	吉岡由明、武衛和雄	51(1)27-31 (2000)	ねばみに対する幼若ホモン様化合物の殺卵効果
2	谷川力、岩城義啓、川上泰、村田義彦、 谷口信昭、内田明彦	51(2)95-100 (2000)	本邦11地点から捕獲したトアヌミと実験用 ラット のリルファリン感受性について
3	武田富美子、當間孝子、宮城一郎	51(4)243-247 (2000)	室内塵からのダニの採取方法
4	橋本知幸、本山直樹、水谷澄、新庄五 朗	51(4)275-281 (2000)	7種薬剤のコヒヨウヒダニおよびケガコダニの行動 に及ぼす影響（英文）
5	辻英明	51(4)283-287 (2000)	ノシマタラメイカ 1歳幼虫の餌への探索能力（英 文）
6	河野義明、高橋正和、松下和弘 仁科正美、亀田幸彦	52(1)23-30 (2001)	トレハラーゼ阻害剤パリドキシルAによるワモンコキ アリ卵巣発育の抑制（英文）
7	田原雄一郎、望月香織、渡辺泰弘、高 橋朋也	52((2)81-86 (2001)	チャバネコアリ成虫の糞の分布による薬剤忌避 現象の検証（英文）
8	橋本知幸、高田直也、本山直樹	52(3)195-200 (2001)	ケガコダニのATPase活性と殺ダニ剤による活 性の阻害（英文）
9	田々実健治、森直樹、西田律夫、桑原 保正	52(4)279-286 (20 01)	コヒヨウヒダニ雌の性フェロモン:2-ヒドキシ-6-オクチルヘンズ アルテヒド（英文）
10	谷川力、小瀧正博、田邊光、内田明彦	53(3)199-202 (2002)	東京都大田区におけるクマネズミの商業地域から 住宅地域への分散
11	辻英明、立岩一恵	53(4)213-218 (2002)	粘着トラップ上のベト食物に対するチャバネコアリ の反応
12	田原雄一郎、望月香織、渡辺泰弘	54(1)13-16 (2003)	実験室条件下でのクロキアリの糞食、死骸食の 検証（英文）
13	吉岡由明、武衛和雄	54(1)17-24 (2003)	ねばみに対するpyriproxyfen配合スプレー剤の駆 除効果
14	田原雄一郎、望月香織、渡辺泰弘	54(1)13-16 (2003)	実験室条件下でのクロキアリの糞食、死骸食並 びに共食いの検証（英文）
15	伊藤靖忠	54(4) (2003)	クマネズミによる3種抗凝血性殺鼠剤の接種性比 較（英文）